第二種

尋常小學書キ方手本

第五六學年用乙上乙種

K130.721
2.2
5.6乙上b

第二種

尋常小學書キ方手本

第五六學年用乙上乙種

文部省

日出ヅル處ノ天子書ヲ日沒スル處ノ天子ニ致ス。

恙無キカ。

第二尋六五乙上乙

第二尋六五乙上乙

神社。佛閣。拜殿。

五重塔。手水鉢。

人はいさ心も知らずふる里は
花ぞ昔の香ににほひける。

来て見ればこても櫻のみねつゞき
吉野初瀬の花の中やど。

御手紙拜見仕候来る二十日講話會
に御招き下され有り難く存じ候專
門家の講話を承る好機會と存じ候

第三尊姿乙上乙

へども當日はやむを得ざる用事こ
れ有り殘念ながら參上致し難く候
右取りあへず御返事申し上候敬具

第三尊姿乙上乙

我ガ聯合艦隊ガ克ク勝ヲ制シテ前記ノ如キ奇績ヲ收メ得タルモノハ一ニ天皇陛下ノ御稜威ノ致ス所ニシテ固ヨリ人爲ノ能クスベキニアラズ。殊ニ我ガ軍ノ損失死傷ノ僅少ナリシハ歴代神靈ノ加護ニ依ルモノト信仰スルノ外ナク嚮ニ敵ニ對シ勇進敢戰シタル麾下將卒モ皆此ノ成果ヲ見タルニ及ンデ唯々感激ノ極言フ所ヲ知ラザルモノノ如シ。

手數。都合。取扱。

保存。交換。輕便。

吹く風をなこその関と思へども
路もせにちる山桜かな。

第三尋五乙上乙

十三

年を経し糸のみだれの若しさに
衣のたてはほころびにけり。

第三尋五乙上乙

十四

頭。胸。腹。心。臟。肺。

腸。胃。筋。肉。關。節。

動物體色周圍。

保護警戒武器。

裾野。樅。檜。頂上。

第二尋六五乙上乙

噴火口。銀明水。

第二尋六五乙上乙

燈臺本暗シ。

長者ノ萬燈ヨリモ貧女ノ一燈。

旅ハ道連世ハ情。

思フ念力岩ヲモ通ス。

濱邊。沖合。地引網。

鰺。鯖。鰹。鰯。鱸。鯛。蟹。

いづこの町も村も老若男女ひたすらに
大君を思ひ奉る赤心より祈らぬ神佛も
無く立てぬ頭も亡し。まして二重橋外の廣

場には土にひれふし砂にぬかづきて夜となく晝となく祈り奉るもの幾千といふ數を知らずゆゝしき有樣たとへんに物亡し。

拜啓老父事本年は八十八歳に相成り候
につき来る九月二日の誕生日に御心安
き方々御招待いたし心ばかりの祝意

第二号紙乙上乙

を表し度と存じ候間同日正午までに
御出で下されはば大幸の至に存じ
先は御案内まで此のぬくに御座候

第二号紙乙上乙

梁棟桁床敷居

鴨居唐紙障子

耕地整理。養蠶。養雞。

著實。熱心。去華就實。

本殿の横手に一段ばかりの平地あり。こゝは我が村の公園ともいふべく御祭の日宮角力の行はるゝも此處なり村

芝居のもよほさるゝも此處なり。豐年の喜に人心の勇み立つ秋の空宮太鼓のひゞきは我等の胸ををどらしむ。

7130.721
2.2

大正五年三月十七日印刷
大正五年三月十八日發行
大正五年三月廿日翻刻印刷
大正五年四月十一日翻刻發行

著作權所有

第二種尋常小學書キ方手本
第五六學年用乙上乙種

定價金參錢

著作權者 文部省
發行者 玉木本三郎
書翻刻者 東京市小石川區久堅町百八番地6
發行者 日本書籍株式會社
代表者 大倉保五郎
印刷者 東京市京橋區新榮町五丁目七番地 村田豐吉
印刷所 東京市京橋區新榮町五丁目七番地 大倉印刷所

文部省檢査濟
大正五年三月廿九日

發賣所 東京市日本橋區新右衛門町十六番地 株式會社 國定教科書共同販賣所